

## 鎮魂の夏 閑上

8月13日、大津波で壊滅的な被害を受けた名取市閑上で「なとり鎮魂灯籠流し」が行われた。美田園駅からシャトルバスが運行されていたが、途中の田圃はひび割れ雑草が覆い茂っていた。同市の死者・行方不明者数は993人、ほぼ同数の灯籠が遺族の願いを込めて名取川に流された。

被災地域はいまだに立ち入り禁止で復興はこれからだが、以前取材した漁亭「浜や」さんが、長町の仮設住宅で営業を開始したと嬉しい報道されていた。「町の人と協力して必ず閑上に戻って復興させたい」と決意を述べてくれた。立ち止まらない事が確実に復興に近づいていく。

名取川（閑上）8月13日 18時56分



お墓参りを終えた親子

### 決意



混乱を避けるため花火の告知は許可されなかった



閑上中の校舎に被災者のメッセージが浮かび上がる



名取市閑上観音寺の近くで



墓石を探していた人が歓声を上げていた。兄弟5人で来ていた仙台市若林区古城の庄子真由美さん（56）に何うと、お墓の土台は残っているものの墓石が流されて見つからなかった。それが数十メートル離れた場所で見つかったとのこと。8月13日盆の入りの日にみつき「おばあちゃんを見つけさせてくれたんだね」と。（名取市閑上 観音寺で）